活動報告書

2022年3月更新分

• 2022/03/10 北海道新聞掲載



• 2022/03/10 釧路新聞掲載

• 2022/03/25 記者会見実施



• 2022/03/26 北海道新聞掲載

億7200万円 原4階の一般病 工事は昨年11月 ほぼ終了してい り総面積は約12 全33床で、家 った」と話す。 ケア病棟がな の時間を少しで ん を 手術したが を 手術したが 室を設け、オンライン面会パーティション付きの面会のほか、コロナ禍に対応しのほか、コロナ禍に対応し 患者や、自宅療養が困難でい状態からの改善を目指す 用にタブレットも貸し出 験を釧路港で行っている民 ボン」の量を増やす実証実 素(CO²)「ブルーカー 素(での2)「ブルーカー 未来に良い海残したい」 海藻のCO2吸収量増へ実験 民間企業社長、釧路で会見 民 組みについて説明する記者 - ーボンプロジェクト」(了 - ーボンプロジェクト」(了 - トボンプロジェクト)(丁 - トボンプルーカ 電子版りに動画 会見で事業の意義につい て語るJBPの吉川社長

では最小に、 喜びは最大に で内科部長は「患者のつら に、 をびは最大に したい」としている。 できるような場所にした い。この地域の先駆けとし 人を配置する。 (今井裕紀)

破産手続き開始 「アサヒトラポ」

(釧路市星が浦南3)は釧路地裁から破産手続き開始 東京商工リサーチ釧路支 店によると、同社は199 はよると、同社は199 運送業のアサヒトラポ 釧路の運送会社

公状人2医集新表は外人 人延2路同 ちにより良い海を残した をつくり、未来の子どもた川京二社長(行)は「海の森 会見を釧路市で開いた。

3年間かけて、他の海藻よ

に取り組み、吸収されるC には道内各地で藻場の再生 には道内各地で藻場の再生 P業の展開を目指す。 の2の枠を企業に販売する ブを早く育てる手法などを りCO2吸収量が多いコン 吉川社長は「世界的にも事業の展開を目指す。 0つらが、 が昨れずただ どのか

ウニが増えて駆除の費用がかさむという問題も起きている。道東で得た知見をいずれは世界のためにも役立てたい」と力を込めた。 おり、オーストラリアでは藻場の消失は課題になって (五十地隆造) と発生 人,道

111

団体も、生産ーネルを店内に展示。釧根の二

れる緩和ケ

や多床室の病室を備えた個室とがともに寝泊まりできる

ッチンや退院後に社会復帰をしてもらうための共用キをしてもらうための共用キ

人生最期の時間を病院で過 で、医師の紹介が必要。 らで、医師の紹介が必要。 らで、医師の紹介が必要。

知床

• 2022/03/26 釧路新聞掲載

